



だいすきいっぱい チーム愛宕



12月1日（木）、最高のマラソン大会日和となりました。この日に向けて、かけ足をがんばってきた子供たち。自主的に練習する子供もいました。みんな目標を立て、それに向かって努力することができました。その成果を出す時。昨日は子供たちの輝く姿がたくさん見られ、私自身がほんとうに嬉しい気持ちになりました。「最後まで走り切る姿」「ラストスパートでは歯を食いしばって力を出し切る姿」「スタート前に友達と励まし合う姿」「走り終え、悔しくて涙が止まらない姿」「目標達成に笑顔いっぱい喜び姿」このように、子供が成長できるような学校行事を組み込んでいく必要があります。私が強く思っていることは、うまくできなかつたり結果が出なかつたりする経験を、若いうちにしておきたいと。泣けてしまうくらい悔しい気持ちをもてることは素晴らしいこと。それだけ今まで頑張ってきた証拠です。その気持ちが必ず次への活力となります。次へのエネルギーにしていかなければならないと思います。これからの時代をたくましく生き抜いていく子供を育てるために、学校はコロナに負けず、これからも前へ進んでいきます。

11月28日（月）、月曜朝会の校長の話の中で「私と小鳥と鈴と」の詩を朗読しました。目を閉じ、イメージをわかせて聴かせました。校長掲示板に張ってあるのを見て、この詩を知っている人もいました。私の思いを全校児童へ伝えました。人にはそれぞれいいところがある。自分にはないものを人は持っている。それぞれが自分らしさを出し、それを認め合える学級の雰囲気をつくってほしいと。1学期の月曜朝会で話した「世界に一つだけの花」も同じです。体育館で全校児童に配付した歌詞プリントです。2学期もあと1か月。まとめの時期です。それぞれの級訓を目指して、温かい学級づくりを呼びかけまし

た。来週の月曜日からは「愛宕人権週間」です。いじめのない、温かい学校づくりに力を入れていきます。「みんなちがって みんないい」子供も職員もすべての人が…。

